

桜英水苑より『演劇：勸進帳』感動しました！

気持ちの良い風、あざやかな若葉、爽やかな季節ですね！  
でも、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもありますので、  
みなさん、どうか無理をせず、お身体を大事にしてくださいね。

さて、桜英水苑では、5月15日（金）に  
四日市市民大学 23 期英会話クラブ 演劇サークル 希望座 の皆様に  
お越しいただき、有名な『勸進帳』の演劇が開催されました。  
演劇当日、100 名近くのご利用者様や職員が会場を埋め尽くし、  
感動と笑顔に包まれた、生き活きた楽しい時間が流れました。

	<p>京の五条大橋。牛若丸（後の義経）と弁慶の出会いの場面です。迫力ある謡曲と立ち回りに、皆さん釘づけでした。</p>
	<p>義経と静御前の出会いと別れの場面です。静御前の華麗な舞に、皆さんうっとりされていました。</p>
	<p>静御前が義経にお酒を注ぐ場面です。 『ダメよ、ダメダメ』『いいじゃないの』の流行のお笑いネタで、会場が和やかな雰囲気になりました。</p>



いよいよ勸進帳の場面です。

兄、源頼朝に追われている義経一行は、山伏に変装して、藤原秀平（義経の味方）が治める奥州の平泉に向かっていました。旅路の途中、北陸の『安宅の関』で掴まってしまいます。弁慶が白紙の巻物を、まるで勸進帳のように読み上げる場面です。



疑いが晴れぬ中、弁慶が主人である義経を泣く泣く強打し、最後には義経一行と知りながら、関所を通す有名な姿に心を打たれた関守（富樫）が、『判官びいき』の場面です。



無事に関所を通過した義経一行を追って、関守（富樫）が駆けつけ、疑った非礼を詫び、お詫びに酒を振る舞う場面です。



希望座の皆様、思い出に残る素晴らしい演劇を本当に有難うございました。